

# 剣道

No. 175

三木市剣道連盟  
広報部

12月～2月  
号

平成28(2016)  
年

2月25日(木)発行

○第39回三木  
市民剣道大会  
(1・2  
面)

○平成28年新年  
を迎えて神澤  
正輝会長(3面)

○少年指導部活  
動紹介

- ・スポーツクラブ21少年剣道大会
- ・ゴールデンエイジプロジェクト
- ・剣道形講習会 (4面)

◎本紙は三木市  
剣道連HP (<http://>)

## 第39回三木市民剣道大会

約100名が参加し、熱戦、接戦で大いに盛り上がる

恒例の市民大会「第36回三木市民剣道大会兼第29回三木市少年スポーツ大会剣道の部」は、11月15日(日)、三木市民体育館で開催され、市内各剣道教室、各学校剣道部員ら約100名がエントリーした。当日は、午前9時前から出場選手、審判団、剣道連盟一般会員らによる合同稽古が行われ、ひと汗流した後、開会式が始まった。



緑が丘スポーツ少年団の剣道クラブの石田直史君が力強く行った。

選手宣誓は優勝杯返還後、

**中谷氏に感謝状を贈呈**  
開会式では、少年指導部中谷忠資氏に、陸上自衛隊青野原駐屯地司令杯少年剣道大会の企画・運営に当たり、事務局として奔走されて地域の青少年の健全育成に貢献されたことをたたえ、神澤会長から感謝状が渡された。



小学生女子の部では、4年生以下で復活した三木平田少年剣道教室勢が2、3位に入



試合は10時半から4つの試合場で全試合予選リーグ、決勝トーナメントで進行。午前中に小学生4年生以下の部男女、5・6年生の部男女、そして中学生女子の部が行われ、昼食をはさんで、日本剣道形の教室対抗戦、中学生男子、高校生男女、一般女子の部、一般青年の部、一般青年の部が行われた。



賞し、古豪復活を期待させる結果となったが、5・6年生女子の部では志染スポーツ少年団剣道部の5年生が、1位から3位まですべてを独占、層の厚さを示した。一方、小学生男子の部では、多くの所属チームから入賞者が出て、各チームの実力が拮抗している様子が伺えた。

中学生・高校生の部では、出場者が少ない状況ではあったが、加村仁奈・大前史央・内村友美・浅井優輔ら実力者が優勝をさらった。

各教室代表1チームによる日本剣道形対抗戦では、三木中央少年剣道教室チーム神吉瑠斗・加村蓮組が、接戦を勝ち残り優勝した。

少年々々出場者が少なく、中学生・高校生の部対して一般の部